

課題研究発表会開催

2/10
(土)

徳高生340名が研究を熱く語る!



詳しくはこちら



この写真は令和5年9月9・10日に行われた徳高祭のテーマ「にじ」の巨大垂れ幕です。生徒たちの熱い思いが込められています。

令和5年4月～12月 SSH活動報告

6月10・11日 SSH科学巡検

1年次生徒40名が講師役となり、京都大学に滋賀県7つの高校の生徒を集めて、人工知能のワークショップを開催しました。大学教授による特別講義や、課題研究発表会も交えながら、交流を深め、科学研究に対する姿勢や考え方を学びました。



物理班 Physics

物理班は、プログラミングやマイコン技術を使って、20人でワイヤレスと、人工知能を含む様々な研究開発を行っています。今年度は、忍具の研究が世界大会出場、アイデアを凝らした装置が全国大会出場しました。ほぼ全員がプログラミング初心者ですが、3年間で「専門家」に成長します。



7月29～31日 全国高等学校総合文化祭

自然科学部門の“甲子園”ともいえるこの大会で、科学部化学班の2名が研究発表をしました。テーマは「クエン酸による洗浄メカニズムの解明と万能掃除薬品の開発～おうちのお掃除これ1本！～」です。来年度は4年連続出場、悲願の入賞を目指して頑張ります。

8月7・8日 理数科合同セミナー

徳山・山口・岩国の各校の理数科1年次生が山口市にある徳地青少年の家に集まって、理数科三校合同セミナーが開催されました。“科学の甲子園”実技競技やディベート大会で競い合ったり、AIを共同制作したりすることで、互いに交流を深めることができました。



化学班 Chemistry

普段は興味・関心の高い内容について研究を行っています。計画や準備は大変ですが、楽しく活動を行っています。徳高祭ではレジンやミョウバン結晶を販売し、8種類の実験を演示しました。今後も少しずつですが、化学に関する知識や技能を身につけていきたいと思います。



8月8・9日 全国SSH生徒研究発表会

文科省主催のSSH生徒研究発表会が神戸市で開かれました。本校からは2名が山口県代表として参加し、「あなたの知らない米ノリの世界」についてポスター発表をしました。見学参加した後輩2名も、他校の発表を数多く参観し、良い刺激を受けました。

生物班 Biology

今年度は3種類の研究を進めています。一つは、音がキノコの成長に与える影響について、昨年度からの研究を継続しています。また、河川の動物が水質に与える影響についてと、海藻の二酸化炭素吸収効果について、それぞれ今年度から研究を始めました。岩国市ミクロ生物館や京都大学との連携も継続しています。



12月9～14日 SSHマレーシア海外研修

2年次生7名が、マレーシアのマラヤ大学、マラ工科大学、ムザフア・シヤー科学中等教育学校を訪問しました。マレーシアの大学生や高校生に英語で課題研究発表を行ったり生物多様性の講義を受けたりしました。ハイビスカスの生育土壤や水質を自らの手で調べて、マレーシアの環境を学ぶこともできました。



数学班 Mathematics

数学班はグループや個人で興味・関心を持ったことを週2回で研究しています。メインは全国の数学好き高校生が集結する「マスフェスタ(大阪)」でのポスター発表に向けた研究です。また、徳高祭での「因数分解コンクール」の問題作成や問題集の作成もしています。



5月22日 令和5年度「校内科研費」始動！

研究計画をプレゼン
評価に応じた研究費

生徒

校長先生

「校内科研費」は徳山高校独自の制度で、本気で研究したい科学部の生徒を資金面で強力に支援する制度です。今年度は最多の13グループが申請し、総額55万円が支給されました。日々の研究に邁進し、論文を書いて研究発表に臨みます。

採択研究のテーマ一覧

- * カーボン系固体酸触媒を用いたセルロースの加水分解
- * 生物による水質浄化の効率化
- * 食用油が及ぼす発泡ボリスチレンの影響
- * 保冷剤をもっと便利に
- * 地球温暖化解決の鍵～ブルーカーボンで地球を救う～
- * シタケ菌の成長と音の関係について
- * 円の周上に点を取って、円の内側の範囲で全て結んだときの形や数の法則性
- * 首の筋電位から体の動きを予測する
- * カメラの手の軌道による撮影の実現
- * 足跡を可視化する装置の開発
- * 品種による米ノリの強度向上と硬化時間の短縮
- * ハンデなく道具を使えるようにする
- * 紙粘土の再利用

SSH生徒課題研究論文集
徳山高校HPから読みます！令和5年5月
山口県立徳山高等学校